

目標達成計画

作成日：平成 23年 7月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念ではなく、事業所独自の理念が無い。	事業所独自の理念、方針を定め、職員と共有し、実践に向けての意思統一を図る。	事業所独自の理念、方針を施設内に掲示し、ご利用者及び外部に示す。日々職員で唱和し、理念の意思統一を図る。	1ヶ月
2	33	重度化した場合や、終末期の医療行為が必要になった場合、スタッフの対応ができるような研修ができていない。	訪問看護による医療連携を取り入れ、協力医も積極的に重度化終末期に向けた支援体制を整えている。職員への終末期へ向けた研修会を行っていききたい。	医療的なケアの面で、終末期に向けての研修として7月より協力医との勉強会を2ヶ月に1回実施していく。職員の不安を解消し、医療連携のもと、ご利用者の終末期に向けて積極的に支援していける体制を整える。	3ヶ月
3	2	地域の幼稚園や小・中学校との交流。また、消防団との具体的な協力体制ができていない。	地域の幼稚園や小・中学校との交流を図る。また、消防団との具体的な協力体制を築く。	地域の幼稚園児や小・中学校生に誕生会や敬老会等の行事への参加を定期的に呼びかける。又、学校の行事等への参加やこどもの安全、健全育成につながる日常的な関わりも検討し、交流機会を作る。また防災訓練を行う時、地域の消防団にも参加、協力を求め、防災対策における協力体制を築き地域との結びつきを深めていく。	3ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。